

ふくしま医療機器（救急・災害対応医療機器）開発事業費補助金
の採択について

本県では、復興計画の主要な取組として「医療関連産業の集積」を推進しております。
これまでの先端的かつ汎用的な医療機器の研究開発への支援に加え、今後は全国に先
駆けて、救急・災害分野の医療機器の開発を支援し、この分野を新たな柱に育て、本県
の医療関連産業の振興に繋げていくことといたしました。

今般、上記補助金の公募を行い、審査会を開催した結果、下記のとおりとなりました
ので、お知らせします。

記

1 ふくしま医療福祉機器（救急・災害対応医療機器）開発事業費補助金

(1) 概要 医療関連産業の集積をさらに促進するため、福島県が新たに設けた下
記のテーマを実現させるための具体的なテーマ（サブテーマ）である
医療福祉機器等の研究開発ならびに実証試験等に取り組む企業を支援
する。

(テーマ) 「ICTとの連携による救急・災害対応医療機器の開発」

(2) サブテーマ 【移動型手術室及び移動型手術室内において使用する医療機器の開発】

- ①移動型ER
- ②携帯型のマイクロ波手術支援機器
- ③小型X線動画装置

【救急・災害現場（手術室以外）で使用する医療機器等の開発】

- ④小型ウェアラブル患者センサー（呼吸数測定）
- ⑤救急患者等のDB化とInterfaceの開発

(3) 補助対象企業 医療機器の研究・開発に取り組む企業（県内外・規模不問）
※県内企業および県内大学等との連携（産学連携）が必須

(4) 補助額 各サブテーマごと、全期間で1億円程度を上限とする

(5) 補助率 県内中小企業3/4、県内大企業2/3、県外企業1/2

(6) 公募期間 平成26年10月16日から11月7日まで

(7) 申請数 5件

(8) 採択件数 5件（詳細は別紙）

ふくしま医療福祉機器(救急・災害対応医療機器)開発事業費補助金

<採択案件>

「①移動型ER(緊急手術室)」

代表企業 神田産業(株) (本社:須賀川市)

連携企業 富士通(株)(神奈川県)
(株)YANAI総合研究所(青森県)
(有)エム・ダブル・ティ(栃木県)

連携大学 福島県立医科大学、日本大学工学部

事業概要

救急・災害現場においては閉鎖された医療空間の確保が困難なため、患者のプライバシーの確保、感染症の恐れ等の懸念があり、出来る治療も限定されている。そこで患者の搬送を必要とせずに救急・災害現場でより多くの生命を救うことを目的に紙製のハニカムパネルを用いた「移動型ER」の開発を図る。



「②携帯型のマイクロ波手術支援機器」

代表企業 サンエー精工(株) (本社:埼玉県)

連携企業 高周波熱錬(株) (いわき市)
(株)マイクロン滋賀(滋賀県)
オリエンタマイクロウェーブ(株)(滋賀県)
日機装(株)(東京都)

連携大学 福島県立医科大学

※県内連携大学: 福島県立医科大学

事業概要

災害等、電源喪失時に対応できるマイクロ波エネルギーを利用した救命に必要な3種類の手術支援機器を開発する。

- ① バッテリー、発振器、チューナ内臓型のマイクロ波凝固切断器
- ② 患者の低体温予防に輸血や輸液を加熱できる装置
- ③ 止血、凝固、掘削、剥離可能な小型実質臓器凝固吸引機器



「③小型X線動画装置」

代表企業 コニカミノルタ(株) (本社:東京都)

連携企業 福島コンピューターシステム(株) (郡山市)
連携大学 福島県立医科大学

事業概要

救急・災害現場においては、迅速かつ的確な処置が患者の予後を大きく左右するため、患者の状態を短時間で十分に判断し、適切な処置を行うことが重要である。そこで、患者の状態をより正確に把握可能とするべく、小型X線装置に動画像を撮影する機能を付加し、さらに、撮影した動画像に画像処理を施すことで、疾患部の3次元情報、並びに、機能情報の提供を実現する。



X線動画像

3次元情報

呼吸機能情報

「④小型ウェアラブル患者センサー(呼吸数測定)」

代表企業 東和(株) (本社:本宮市)

連携企業 (株)ノルメカエイシア (東京都)

フクダ電子(株) (東京都)

ハネウェル(埼玉県)

連携大学 福島県立医科大学



中央コントロールセンター

事業概要

災害現場で活動する救助隊員やDMAT隊員、消防隊員等のバイタルサインや位置情報を簡便に測定、監視可能な下着及びデータ収集システムを開発する。

- 呼吸数を測定できる小型センサーの開発
- 位置情報マッピングシステムの開発
- 小型センサー機能付き使い捨て下着の開発
- 位置情報及びセンサー情報の送信手段の開発

「⑤救急患者等のDB化とInterfaceの開発」

代表企業 (株)シンク (本社:会津若松市)

連携企業 バーズ・ビュー(株) (東京都)

連携大学 会津大学、福島県立医科大学

事業概要

救急・災害現場に携わる医師達が必要とする情報は、各部位の重症度やそれに基づく生存率・予後の動向であるが、現在の日本においてそのような情報が収集され、セキュリティが担保された状態で有効に扱えるデータベースは存在しない。そこで、救急・災害対応時に必要な情報のモデリングを行い、簡便に表示するアプリケーションと救急医療の質向上に資するデータ活用が可能なデータベースを構築開発する。

